

介護福祉実務科

訓練実施施設名	鹿光学習センター		
訓練番号	4-28-01-02-05-1313	訓練コース	()基礎コース・(O)実践コース
受講者募集期間	平成28年12月9日(金) ~ 平成29年1月6日(金)		

訓練概要	企業実習に重点を置き、実務者研修に必要な介護技術や介護知識などを習得する。また、介護報酬請求事務で介護保険制度の概要を学び、介護給付明細書を作成する。さらに、実務で必要となるパソコン操作の基礎を習得する。		
	科目	科目の内容	訓練時間
学	就職支援	職務経歴書の作成、履歴書の作成、面接の心得とテクニック	18
	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、各国の介護と福祉の制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	30
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けて介護の考え方、介護福祉士の倫理	10
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職員の安全衛生	20
	コミュニケーション技術	コミュニケーションの基本的理解、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	21
	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ、介護技術の評価	24
	介護過程Ⅱ	ケアマネジメント介護過程、介護過程の展開、介護職による介護過程の実践、介護職同士のチームケア	6
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴うことごとからだの変化	10
	発達と老化の理解Ⅱ	老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	20
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴と支援の基本	10
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実践	20
	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念	10
	障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害(児)者への支援の実践	20
	ことごとからだⅠ	介護に関連したからだの仕組みの基礎的な理解(移動・乗車、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	24
	医療的ケア	安全な療養生活、生活維持と感染予防、高齢者及び障害者の「たん吸引」「経管栄養」、人間の尊厳と医療の倫理、医療・介護関連法規とチーム医療	51
	介護報酬請求事務	介護保険制度の概要、介護報酬、給付管理業務、介護給付明細書の作成	30
	同行援護一般課程	視覚障がい者(児)の福祉サービスと同行援護の制度、障害・疾病の理解①、心理の理解①、情報支援と情報提供、代筆・代読の基礎知識	13
	同行援護応用課程	障害・疾病の理解②、心理の理解②、	2
実	全身体性ガイドヘルパー	障害者自立支援制度とサービス、移動介護の制度と業務、居宅介護概論、職業倫理、重度肢体不自由者(児)における障害の理解と心理、車いす及び装具等の理解、姿勢保持、コミュニケーション、事故防止	12
	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、ボディメカニズムの活用、介護技術の基本、環境整備・福祉用具活用、ターミナルケア	24
	生活支援技術Ⅱ	利用者の身体に合わせた介護、環境整備、福祉用具活用等の視点(食事、排泄・尿失禁、移動、歩行、睡眠、夜間の介護、入浴・清潔、衣服の介護)	30
	介護過程Ⅱ	介護計画立案-Ⅰ、介護計画立案-Ⅱ、介護計画の見直し	21
	介護過程Ⅲ	情報収集の過程、居宅ケアプラン作成、事例検討①②③④、介護技術の評価	57
	ことごとからだⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、高齢者に多い病気とからだのしくみ(身だしなみ、移動、食事、入浴・清潔、排泄、睡眠、終末期の介護)の理解	60
	医療的ケア演習	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引・経管栄養の実施手順とシミュレータ装置による演習、救急蘇生法演習	30
	同行援護一般課程演習	挨拶、基本姿勢、歩行、曲がる、狭い場所の通過、椅子への誘導、交通機関の利用の基本、環境に応じた歩行、段差、さまざまな階段とドア、エレベーター、エスカレーター、車の乗降、食事、トイレ、車いす利用の視覚障がい者への対応	8
	同行援護応用課程演習	場面別基本技能と応用技能(窓口やカウンター、買い物、天候別の対応、金銭・カードの取り扱い、公共交通機関のいろいろ)、公共交通における移動支援の実践	10
	全身体性ガイドヘルパー演習	抱きかかえ方及び移乗の方法、車椅子の移動介助、生活行為の介助、外出演習	5
その他	コンピュータ演習	Windows7の起動と終了、基本操作(アプリケーションソフト、タスクバー、エクスプローラー、コントロールパネル、フォルダ、インターネット等)、Wordの基本操作と日本語入力システム・文書作成、Excelの基本操作と表作成・計算式	18
	企業実習の有無	有り	78

訓練対象者の条件	特になし		
訓練目標(仕上がり像)	在宅介護を重視し、幅広い知識と視野を持ち介護サービスを総合的に考え提供できる人材を育成する。また、介護保険法を対象とした高齢者介護、障害者総合支援法を対象とした障がい者介護の両分野に介護技術者として就職することを目指す。		
訓練期間	平成29年1月26日(木) ~ 平成29年7月25日(火)		
訓練時間	9時00分 ~ 16時30分	放課後、就職支援等を実施する場合があります。詳しくは、当校までお問い合わせください。	
定員	20名 (受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります)		
自己負担額(内訳も記載)	教科書代 13,840円	その他(企業実習健康診断料) 1,100円	受講料は無料です。
	※企業実習の実施を10日予定しており、これに係る交通費が別途発生します。同行援護・全身体性ガイドヘルパー外出演習を3日予定しており、交通費が発生します。金額は税込です。		

求職者支援訓練申込方法	①ハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要書類とともに、住所を管轄するハローワークに本人が募集期間内に申し込み手続きをしてください。 ②本人がハローワークで受付された受講申込書を「ハローワーク受付後の受講申込書提出先」へ持参または郵送により、ご提出ください。		
ハローワーク受付後の受講申込書提出先	宛先：鹿光学習センター 住所：〒060-0005 札幌市中央区北5条西14丁目1-42 TEL番号：(011) 261-5060 問い合わせ担当者名：(加藤) / 受付時間：(8:00 ~ 17:00) E-mail: info@medical-hokkaido.jp		

PRポイント

(就職支援の内容、過去に実施した求職者支援訓練の実績等)

鹿光学習センターの訓練は、強味がいっぱい！
確かな技術を持ち、介護職を知り抜いた講師陣

就職支援に力を入れています
履歴書の書き方から自己アピールの方法、面接を勝ち抜く方法を学びます
きっと自分に合う働き方が見つかるはず！

雇用保険適用就職率(直近3コースの平均)：73%

修了後に取得できる資格

Table with 4 columns: Course Name, Designated Organization, Qualification Name, and Exam Type. Includes courses like '介護福祉士実務者研修' and '介護報酬請求事務技能検定試験'.

Table with 2 main columns: Selection Information (Date, Time, Location, etc.) and Map. The map shows the location of the training center near JR Sanno Station.

Table with 2 main columns: Training Details (Institution, Dates, Contact Info) and Course Description (Course Name, Schedule, Fees). Includes details for '鹿光学習センター' and 'コース説明会'.

※教科書代等について、訓練開始前に就職等の理由により辞退された場合、当該教科書代等を負担いただく場合があります。
※6月7日～6月23日(13日間)の企業実習期間中は、訓練施設内における訓練時間とは異なる場合があります。
※介護職員実務者研修の資格取得に必要な実技を欠席した場合は、訓練終了後に有料(1時間当たり2,000円)にて補講を受けることで資格を取得することになります。